



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場会社名 三洋化成工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4471 URL <https://www.sanyo-chemical.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 孝夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員事務本部長 (氏名) 山本 眞也 TEL 075-541-6153  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	32,813	△16.5	2,453	△15.6	2,608	△10.0	1,490	△16.9
2020年3月期第1四半期	39,277	△4.9	2,905	△19.1	2,898	△37.7	1,794	△43.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 3,322百万円 (225.3%) 2020年3月期第1四半期 1,021百万円 (△75.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	67.61	—
2020年3月期第1四半期	81.41	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	177,317	131,307	72.8	5,851.91
2020年3月期	178,873	130,097	71.4	5,789.88

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 129,002百万円 2020年3月期 127,635百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	70.00	—	70.00	140.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	70.00	—	70.00	140.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有  
 2. 配当予想の修正については、本日（2020年7月31日）公表いたしました「2021年3月期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	66,000	△15.3	4,500	△23.8	4,700	△20.3	2,600	△31.4	117.94
通期	140,000	△10.0	11,500	△7.6	12,000	△5.5	7,000	△8.7	317.54

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有  
 2. 連結業績予想の修正については、本日（2020年7月31日）公表いたしました「2021年3月期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 10「3. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 有

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注)詳細は、添付資料P. 10「3. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	23,534,752株	2020年3月期	23,534,752株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,490,281株	2020年3月期	1,490,245株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	22,044,498株	2020年3月期1Q	22,044,667株

(注)取締役等を受益者とする信託が保有する当社の株式は期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(セグメント情報) .....	11
3. 補足情報 .....	13
四半期ごとの業績推移 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、個人消費が大きく落ち込み、インバウンド需要も入国規制の影響等により大幅減少の状態が続くと見られます。また、輸出は中国向けで底打ち感がみられるものの、欧米向け自動車・資本財を中心に大幅に減少の状態が続くとみられます。世界経済においては、中国は経済活動の再開により前年並み水準に回復しつつありますが、欧米は経済活動が再開されつつあるものの、前年並み水準に戻るには時間を要すると見られます。

化学業界におきましては、為替相場は米国の金融緩和と政策が維持されるとみられ、一進一退の状態にあり、原料価格は原油価格の下落や世界景気低迷の影響により大幅下落後、やや価格を戻しつつあるなど、不安定な状態にあり、新型コロナウイルスの感染が再拡大する懸念もあり、事業環境は依然として予断を許さない状況にあります。

このような環境下における当第1四半期連結累計期間の売上高は、販売量の減少などにより、328億1千3百万円(前年同期比16.5%減)となりました。利益面では、売上高の減少などにより、営業利益は24億5千3百万円(前年同期比15.6%減)、経常利益は26億8百万円(前年同期比10.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億9千万円(前年同期比16.9%減)となりました。

## 1) 全体の状況

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減		前連結会計年度
			(金額)	(伸び率)	
売上高	39,277	32,813	△6,463	△16.5%	155,503
営業利益	2,905	2,453	△452	△15.6%	12,439
経常利益	2,898	2,608	△290	△10.0%	12,704
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,794	1,490	△304	△16.9%	7,668
1株当たり四半期(当期)純利益	81.41円	67.61円	△13.80円	△17.0%	347.87円
ROA(総資産経常利益率)	6.1%	5.9%	—	△0.2ポイント	6.8%
ROE(自己資本当期純利益率)	5.6%	4.6%	—	△1.0ポイント	6.0%
為替(\$、元)	\$=¥109.91 元=¥16.08	\$=¥107.64 元=¥15.17		¥△2.27 ¥△0.91	\$=¥108.72 元=¥15.60
ナフサ価格	45,400円/k1	25,600円/k1		△19,800円/k1	42,900円/k1

(注) 四半期のROA及びROEは、年換算しております。

## 2) セグメント別の概況

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		増減		前連結会計年度	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
生活・健康	12,804	173	13,676	1,070	871	896	53,726	1,590
石油・輸送機	10,725	740	6,996	319	△3,728	△421	42,770	3,740
プラスチック・繊維	5,644	775	4,949	528	△694	△247	21,453	3,003
情報・電気電子	5,921	1,043	4,018	321	△1,902	△722	20,985	2,937
環境・住設	4,180	171	3,171	213	△1,009	41	16,567	1,166

<生活・健康産業関連分野>

生活産業関連分野は、市況悪化によりポリエチレングリコールの販売が国内外ともに低調となり、液体洗濯洗剤用界面活性剤の販売も低調に推移したため、売り上げは減少しました。

健康産業関連分野は、殺菌剤の需要増加や、主力の高吸水性樹脂が、顧客向け販売好調を維持したため売り上げを伸ばしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は136億7千6百万円(前年同期比6.8%増)、営業利益は10億7千万円(前年同期比515.7%増)となりました。

<石油・輸送機産業関連分野>

石油・輸送機産業関連分野は、自動車産業分野の不振により、自動車シートなどに使われるポリウレタンフォーム用原料、潤滑油添加剤および自動車内装表皮材用ウレタンビーズの販売がともに低調に推移し、売り上げは大幅に減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は69億9千6百万円(前年同期比34.8%減)、営業利益は3億1千9百万円(前年同期比56.8%減)となりました。

<プラスチック・繊維産業関連分野>

プラスチック産業関連分野は、主力の永久帯電防止剤の販売が好調に推移したものの、塗料コーティング用薬剤・添加剤、また自動車関連用途のモデル用材料や塗料用のバインダーとして使われる樹脂改質剤の販売が低調に推移し、売り上げは大幅に減少しました。

繊維産業関連分野は、炭素繊維用薬剤の販売が需要増により好調に推移しましたが、合成皮革・弾性繊維用ウレタン樹脂、タイヤコード糸等の製造時に使用される油剤の販売が低調に推移したため、売り上げは大幅に減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は49億4千9百万円(前年同期比12.3%減)、営業利益は5億2千8百万円(前年同期比31.9%減)となりました。

<情報・電気電子産業関連分野>

情報産業関連分野は、在宅勤務の増加などに伴い、オフィスでの複合機等の利用が減少し、トナーに使用されている粉砕トナー用バインダー、重合トナー用ポリエステルビーズの販売がともに低調に推移し、売り上げは大幅に減少しました。

電気電子産業関連分野は、自動車産業分野の不振を受け、アルミ電解コンデンサ用電解液の販売が低調に推移し、また、電子材料用粘着剤の販売が横ばいで推移したため、売り上げは横ばいとなりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は40億1千8百万円(前年同期比32.1%減)、営業利益は3億2千1百万円(前年同期比69.2%減)となりました。

<環境・住設産業関連分野他>

環境産業関連分野は、高分子凝集剤の市況が引き続き低迷し、その原料であるカチオンモノマーの販売も低調に推移し、売り上げは減少しました。

住設産業関連分野は、市況悪化に伴い、建築シーラント用原料および家具・断熱材などに用いられるポリウレタンフォーム用原料の販売がともに低調に推移し、売り上げは大幅に減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は31億7千1百万円(前年同期比24.2%減)、営業利益は2億1千3百万円(前年同期比24.0%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、前連結会計年度末に比べて15億5千6百万円減少し、1,773億1千7百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べて12億9百万円増加し、1,313億7百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末から1.4ポイント上昇し、72.8%となりました。

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末残高と比較し1億4千7百万円減少（前年同期は27億9千3百万円減少）し、178億6千2百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、41億8千3百万円（前年同期は36億8千7百万円の増加）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益23億6千3百万円、減価償却費23億4千6百万円、売上債権の減少55億8千2百万円などによる資金の増加が、仕入債務の減少35億3千5百万円、法人税等の支払額6億3千6百万円などによる資金の減少を上回ったことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、31億8千6百万円（前年同期は26億7千2百万円の減少）となりました。これは、固定資産の取得に26億4千3百万円を支出したことなどによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、5億9千万円（前年同期は36億6百万円の減少）となりました。これは配当金の支払額15億2千4百万円などによる資金の減少が、短期借入金の増加11億8千2百万円（純額）による資金の増加を上回ったことなどによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響等、先行き不透明な事業環境を踏まえ公表を見合わせておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等を織り込み、下表の通り業績予想を公表しております。

## 2021年3月期第2四半期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	66,000	4,500	4,700	2,600	117.94
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(参考)前期実績 (2020年3月期第2四半期)	77,948	5,906	5,894	3,792	172.04

## 2021年3月期通期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	140,000	11,500	12,000	7,000	317.54
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(参考)前期実績 (2020年3月期)	155,503	12,439	12,704	7,668	347.87

※ 業績予想は発表日時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,009	17,862
受取手形及び売掛金	40,954	35,391
電子記録債権	1,621	1,841
商品及び製品	14,729	15,939
半製品	3,926	3,945
仕掛品	435	199
原材料及び貯蔵品	4,873	4,805
その他	1,316	2,192
貸倒引当金	△32	△30
流動資産合計	85,835	82,147
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,956	17,781
機械装置及び運搬具(純額)	29,985	29,022
土地	8,875	8,851
建設仮勘定	1,330	3,082
その他(純額)	2,568	2,375
有形固定資産合計	60,716	61,114
無形固定資産		
ソフトウェア	1,405	1,337
その他	1,091	1,075
無形固定資産合計	2,497	2,412
投資その他の資産		
投資有価証券	22,701	24,577
長期貸付金	2,232	2,434
繰延税金資産	311	285
退職給付に係る資産	983	992
その他	3,624	3,383
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	29,823	31,643
固定資産合計	93,038	95,170
資産合計	178,873	177,317

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	17,444	15,331
電子記録債務	4,872	3,507
短期借入金	5,867	7,045
1年内返済予定の長期借入金	1,400	1,400
未払費用	3,146	3,412
未払法人税等	715	694
賞与引当金	1,916	1,016
役員賞与引当金	107	22
営業外電子記録債務	799	1,053
工場閉鎖損失引当金	541	314
その他	5,954	5,622
流動負債合計	42,766	39,421
固定負債		
長期借入金	2,400	2,400
繰延税金負債	1,758	2,359
株式報酬引当金	189	219
退職給付に係る負債	27	26
その他	1,633	1,582
固定負債合計	6,009	6,587
負債合計	48,775	46,009
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,051	13,051
資本剰余金	11,246	11,246
利益剰余金	103,033	102,984
自己株式	△5,858	△5,858
株主資本合計	121,473	121,423
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,122	7,742
為替換算調整勘定	471	251
退職給付に係る調整累計額	△431	△415
その他の包括利益累計額合計	6,161	7,578
非支配株主持分	2,462	2,305
純資産合計	130,097	131,307
負債純資産合計	178,873	177,317



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	39,277	32,813
売上原価	30,636	25,171
売上総利益	8,641	7,641
販売費及び一般管理費	5,735	5,188
営業利益	2,905	2,453
営業外収益		
受取利息	18	24
受取配当金	312	272
持分法による投資利益	120	—
不動産賃貸料	89	34
その他	40	54
営業外収益合計	580	385
営業外費用		
支払利息	21	17
不動産賃貸原価	26	14
たな卸資産廃棄損	19	29
為替差損	464	49
持分法による投資損失	—	53
その他	56	65
営業外費用合計	587	229
経常利益	2,898	2,608
特別利益		
受取保険金	—	13
投資有価証券売却益	4	—
特別利益合計	4	13
特別損失		
固定資産除却損	198	258
特別損失合計	198	258
税金等調整前四半期純利益	2,704	2,363
法人税等	924	774
四半期純利益	1,780	1,589
非支配株主に帰属する四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13	99
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,794	1,490

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,780	1,589
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	1,620
為替換算調整勘定	△747	95
退職給付に係る調整額	△8	16
その他の包括利益合計	△759	1,732
四半期包括利益	1,021	3,322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,194	3,187
非支配株主に係る四半期包括利益	△173	134

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,704	2,363
減価償却費	2,204	2,346
固定資産除却損	198	258
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,028	△922
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	△26	14
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△82	△85
株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	29	29
受取利息及び受取配当金	△330	△296
支払利息	21	17
持分法による投資損益 (△は益)	△120	53
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4	—
売上債権の増減額 (△は増加)	3,202	5,582
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,325	△989
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,874	△3,535
その他	65	△370
小計	6,283	4,464
利息及び配当金の受取額	565	373
利息の支払額	△26	△17
法人税等の支払額	△3,134	△636
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,687</b>	<b>4,183</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△2,522	△2,643
有形固定資産の売却による収入	82	3
投資有価証券の取得による支出	—	△100
投資有価証券の売却による収入	6	—
長期貸付けによる支出	△98	△177
その他	△140	△269
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,672</b>	<b>△3,186</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,700	1,182
長期借入金の返済による支出	△274	—
自己株式の純増減額 (△は増加)	△1	△0
配当金の支払額	△1,419	△1,524
非支配株主への配当金の支払額	△210	△220
その他	—	△27
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,606</b>	<b>△590</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△201	△12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,793	393
現金及び現金同等物の期首残高	19,151	18,009
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	△652
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	111
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,358	17,862

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

## ①連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間において、当社の持分法適用の非連結子会社であった名古屋三洋倉庫(株)と連結子会社であった三洋運輸(株)は、名古屋三洋倉庫(株)を吸収合併存続会社として吸収合併し、三洋化成ロジスティクス(株)に商号を変更しております。本合併に伴い重要性が増したため、三洋化成ロジスティクス(株)は連結の範囲に含めております。なお、三洋運輸(株)は吸収合併消滅会社となったため、連結の範囲から除外しております。

## ②持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間において、名古屋三洋倉庫(株)は吸収合併存続会社となり、重要性が増し連結の範囲に含めたため、持分法適用の範囲から除外しております。

## ③連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

従来、決算日が12月31日である連結子会社サンヨーカセイ(タイランド)リミテッドは、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っていましたが、連結財務諸表のより適切な開示を図るため、当第1四半期連結会計期間より四半期連結決算日に仮決算を実施して連結する方法へ変更しております。

なお、当該連結子会社の2020年1月1日から2020年3月31日までの損益については、利益剰余金に直接計上しております。これにより、利益剰余金は8百万円増加しており、現金及び現金同等物の増減については、四半期連結キャッシュ・フロー計算書の「連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額」として表示しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2020年3月31日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高が593百万円、売上原価が475百万円、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が118百万円それぞれ減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	合計
	生活・健康 産業関連分野	石油・輸送 機産業関連 分野	プラスチ ック・織 維産業関 連分野	情報・電 気電子産 業関連分 野	環境・住設 産業関連 分野他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	12,804	10,725	5,644	5,921	4,180	39,277	—	39,277
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	7	7	△7	—
計	12,804	10,725	5,644	5,921	4,188	39,284	△7	39,277
セグメント利益	173	740	775	1,043	171	2,905	—	2,905

(注) セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	合計
	生活・健康 産業関連分野	石油・輸送 機産業関連 分野	プラスチ ック・織 維産業関 連分野	情報・電 気電子産 業関連分 野	環境・住設 産業関連 分野他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	13,676	6,996	4,949	4,018	3,171	32,813	—	32,813
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	10	10	△10	—
計	13,676	6,996	4,949	4,018	3,181	32,824	△10	32,813
セグメント利益	1,070	319	528	321	213	2,453	—	2,453

(注) セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「生活・健康産業関連分野」の売上高が171百万円、セグメント利益が34百万円、「石油・輸送機産業関連分野」の売上高が98百万円、セグメント利益が13百万円、「プラスチック・繊維産業関連分野」の売上高が127百万円、セグメント利益が25百万円、「情報・電気電子産業関連分野」の売上高が140百万円、セグメント利益が36百万円、「環境・住設産業関連分野他」の売上高が56百万円、セグメント利益が7百万円、それぞれ減少しております。

&lt;参考&gt;

## 【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年6月30日）（単位：百万円）

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	30,178	1,880	5,866	1,352	39,277	—	39,277
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,076	—	526	8	2,611	△2,611	—
計	32,254	1,880	6,392	1,360	41,888	△2,611	39,277
営業利益(又は営業損失)	2,984	62	179	△319	2,906	△0	2,905

当第1四半期連結累計期間（自2020年4月1日 至2020年6月30日）（単位：百万円）

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	23,608	914	6,862	1,427	32,813	—	32,813
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,251	23	540	84	1,900	△1,900	—
計	24,860	937	7,403	1,512	34,713	△1,900	32,813
営業利益(又は営業損失)	2,054	△21	727	△207	2,552	△99	2,453

## 【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年6月30日）（単位：百万円）

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	11,674	(7,120)	2,381	580	14,635
II 連結売上高	—	—	—	—	39,277
III 連結売上高に占める海外売上高の 割合 (%)	29.7	(18.1)	6.1	1.5	37.3

当第1四半期連結累計期間（自2020年4月1日 至2020年6月30日）（単位：百万円）

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	12,244	(8,080)	1,262	588	14,094
II 連結売上高	—	—	—	—	32,813
III 連結売上高に占める海外売上高の 割合 (%)	37.3	(24.6)	3.9	1.8	43.0

(注) 1. 海外売上高は、当社(単体)及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

2. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

3. 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) アジア : 韓国、中国、インドネシア、インド、タイ 他

(2) アメリカ : 米国、メキシコ、ブラジル 他

(3) その他の地域 : オーストラリア、ヨーロッパ、ロシア、中東 他

## 3. 補足情報

四半期ごとの連結業績推移

前連結会計年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (2019年4月～6月)	第2四半期 (2019年7月～9月)	第3四半期 (2019年10月～12月)	第4四半期 (2020年1月～3月)	累計 2020年3月期
売上高	39,277	38,671	39,779	37,775	155,503
営業利益	2,905	3,000	2,811	3,721	12,439
経常利益	2,898	2,995	3,313	3,496	12,704
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,794	1,998	2,126	1,749	7,668
四半期包括利益又は 包括利益	1,021	729	3,569	△3,142	2,178

当連結会計年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (2020年4月～6月)	伸び率 (%)	
		前年同期(1Q)比	前四半期(4Q)比
売上高	32,813	△16.5	△13.1
営業利益	2,453	△15.6	△34.1
経常利益	2,608	△10.0	△25.4
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,490	△16.9	△14.8
四半期包括利益又は 包括利益	3,322	225.3	—